

## 地域の宝である公園と神社の景観を守る！

### ○ 活動の経緯と目的 ○



三ツ木八幡神社

美馬市木屋平三ツ木地区のシンボルである貢公園と三ツ木八幡神社は、地元住民が長年周りの森と併せて大切に守ってきました。しかし、過疎化と高齢化が進み、公園・神社周辺の森を手入れできなくなってきたため、「美馬市三ツ木地区自治会広域連合会」を結成し、複数の自治会が力を合わせて地域の資産でもある公園・神社周辺の里山林を整備し、景観保護と地域活性化を目指した活動を行うことにしました。

### ○ 現在の活動内容 ○

現在、「美馬市三ツ木地区自治会広域連合会」のメンバー約20名が年に2回、下草刈りなどの里山林整備活動をボランティアで継続しています。



神社林を鎮守の森として整備



整備によりカヤが自生した場所



事務局 勢古 光男さん

### ○ 交付金活用時の活動について ○

本交付金を活用することで整備機材（刈り払い機）を購入し、整備活動をするための作業日数を多く取ることができました。これにより、雑草木の刈り払いや下草刈りをする場所を広範囲に拡大することができ、このとき整備した頂上広場は現在も地元住民の花見やドクターヘリの発着所として活用されています。また、クワの木やカズラ等の雑草木を刈り払いして整備した場所はカヤが自生しカヤ場となっており、これを刈り取った後に乾燥させ、畑の土作り等に活用しています。

そして何よりも、従前ではなかなか手が回らなかった神社裏の広葉樹林整備（間伐）も、本交付金を利用して、実施することができました。

### ○ 今後の活動について ○

美しい山村を維持していくにはこれからも活動を続けることが重要ですが、若い人が少ないことや、イノシシやシカによる獣害などが深刻な問題です。

雑木に絡みついているカズラなどの根っこはイノシシの餌となるため、雑草木の刈り払いや下草刈りで、それらをきれいに取り除くと、イノシシが出にくくなるという効果がありました。このように里山林保全活動は、獣害抑制にも一役買っているわけです。

今後も引き続き広域連合会のメンバーで、下草刈りを中心とした景観保護活動を継続して行い、若い人にも呼びかけながら、地域の宝である公園と神社周辺の景観を守っていきたいと考えています。